



東京大学先端科学技術研究センター LEARN 「魔法のキャラバン」



「魔法のプロジェクト」とは、携帯情報端末（ＩＣＴ機器）を実際の教育現場で活用し、その有効性を検証・共有することで、学びに困りをもつ子どもたちの学習や社会参加の機会を広げることを目的とした実証研究プロジェクトです。

その一環として行われる「魔法のキャラバン」では、専門家が全国各地にＩＣＴ機器を持参して訪問し、セミナーやワークショップ、機器展示、相談会などを通して、教師や保護者とともにＩＣＴ活用の具体的なノウハウを共有します。

本プロジェクトは、東京大学先端科学技術研究センター LEARN と、ソフトバンク株式会社とが連携して進めるものであり、子ども一人ひとりが自分らしく学び始められる環境づくりを目指しています。

東京大学先端科学技術研究センター LEARN

「魔法のキャラバン in 愛媛」



令和7年11月24日（月・振替休日）に、えひめ教育月間関連事業として「魔法のキャラバンin愛媛」を実施しました。

第一部「子どもの学びや生活にＩＣＴ機器を活用するための講演会・機器体験会・相談会」では、「聞く」「話す」「読む」「書く」などの場面で使えるツールやアプリを実際に体験したり、ＩＣＴを活用して作文を作成する方法を学んだりしました。

第二部「重い障がいのある子どもと保護者・教師のためのＩＣＴを活用したコミュニケーション」では、ＩＣＴを活用しながら刺激に対する子どもの反応を観察し、行動の意味を解釈する方法を学びました。

「魔法のキャラバン in 愛媛（第1部）」で紹介したＩＣＴ機器やアプリの紹介

*：操作方法が紹介されています

★「聞く」

支援方法 A 「信号（S）を大きくする」

支援方法 B 「ノイズ（N）を小さくする」→ノイズキャンセリングヘッドホン*／耳栓*

支援方法 C 「分かりやすく伝える」→UDトーク*／ボイスメモ*

[「魔法のキャラバン in 愛媛」東大先端研 LEARN_聞く](#)



★「話す」

支援方法 A 「写真・絵・シンボルで伝える」→Drop Tap

支援方法 B 「録音・筆談・タイピングで伝える」→ライブスピーチ（標準アクセシビリティ機能）

支援方法 C 「チャット（文字を使って）で話す」→チャットツールアプリ

支援方法 D 「オンラインミーティングシステム（遠隔）で話す」→オンラインミーティング Zoom

支援方法 E 「コミュニケーションの話題を作る」→写真

支援方法 F 「考えを見える形に整理し、伝えやすくする」→マインドマップアプリ

（Simple Mind-Mind Mapping）

[「魔法のキャラバン in 愛媛」東大先端研 LEARN_話す](#)



★「読む」

支援方法 A 「漢字を理解しやすくする」→カメラ*／筆順辞典／Google／Google レンズ*

支援方法 B 「見えやすくする工夫」→標準アクセシビリティ機能*／UDブラウザ*

支援方法 C 「長い文章を読みやすくする工夫」→チャットツールアプリ

[「魔法のキャラバン in 愛媛」東大先端研 LEARN_読む](#)



★「書く」

支援方法 A 「書きやすい方法を工夫する」

支援方法 B 「漢字の構造を理解する」→筆順辞典*

支援方法 C 「正確にメモをする」→ボイスメモ*／カメラ*

支援方法 D 「考えを整理し、生成AIで文章を書く」→写真／Simple Mind-Mind Mapping／Microsoft Copilot／ChatGTP

[「魔法のキャラバン in 愛媛」東大先端研 LEARN_書く](#)

